

平成30年11月1日
千葉県 松戸市

【音楽の街 松戸】松戸駅周辺中心市街地活性化イベント
話題沸騰バンドキラク座が奏でる“小さな秋のアートと音楽会”と
世界最高峰オーケストラメンバーなど約10名が参戦
“ウィーン・フェスタ MATSUDO”開催
～11月3日(土)松戸駅西口デッキ・17日(土)松戸西口公園にて～

松戸市では、松戸駅周辺中心市街地活性化イベントの一環として、芸術の秋であるこの時期に2つの音楽イベントを開催いたします。

11月3日(土)には、“小さな秋のアートと音楽会”と題して、松戸を拠点とするアーティストの作品展示や童謡をジャズやポップスにアレンジした心あたたまる演奏をお届けします。

11月17日(土)には、世界最高峰オーケストラ“ウィーンフィルハーモニー管弦楽団”の管打楽器奏者をはじめとする名演奏家約10名によるブラスムジック(※)に酔いしれながら、食事やお酒をお楽しみいただけます。

この機会に是非、“音楽の街 松戸”を体感しに松戸にお越しください。



【“小さな秋のアートと音楽会”開催概要】

- 日時：2018年11月3日(土) 11:00～14:00【雨天中止】
- 場所：松戸駅西口デッキ
- 費用：無料
- 出演：キラク座(演奏)/菅 隆紀(作品展示・ライブペインティング)

【“ウィーン・フェスタ MATSUDO”開催概要】

- 日時：2018年11月17日(土) 開場(1回目)16:30/(2回目)19:00
- 場所：松戸西口公園 特設大型テント
- 定員：各先着150人
- 費用：5,000円(飲食代込・全席自由)
- 出演：ウィーンフィルハーモニー管弦楽団管打楽器奏者等約10名

【“小さな秋のアートと音楽会” 開催概要 詳細】

「音楽の街、松戸」をテーマに、お子様から大人まで一緒に楽しめる音楽コンサートを開催します。演奏するのは、日本の童謡や民謡をジャズやポップスなどに斬新に色付けして演奏することで話題沸騰のバンド「キヲク座」です。当日は、松戸を拠点に活躍するアーティスト、菅隆紀氏の作品展示とライブペインティングも行います。

■開催時間／11：00～14：00

■出演

<キヲク座>

東京都出身のポスト・ロック・バンド。日本の童謡や民謡を斬新なアレンジや解釈で演奏するプロジェクトとして、2012年に結成。当初は各地の音楽祭にて歌とピアノによる演奏を主にしていたが、2014年より石山紬り、五味俊也を中心とするバンド編成として本格的に始動。2015年にジョン・マッケンティア（トータス）やオノセイゲンらが制作に参加した初アルバム『色あはせ』を発表。2017年11月、2ndアルバム『遊山』をリリース。

<菅隆紀>

1985年長崎県生まれ。2009年愛知県立芸術大学卒業。

自らの存在を路上に記述するグラフィティの表現を参照しながら、人間の根源的な行為や欲求をテーマに、絵画的技法を用いて表現している。

2014年、オーストラリアを放浪中にアボリジニ文化に影響を受け、出会った老人の古民家にて滞在制作を行う。

これまでに、KOSHIKI ART EXHIBITION 2012（2012年、鹿児島）、ドリッピングプロジェクト（2013年、京都府庁旧本館 Musee Acta）、駒込倉庫（2015年、コミッションワーク）など、国内外で展示。2016年マネックス証券主催「ART IN THE OFFICE Program」にてグランプリ受賞。

松戸市制施行75周年記念
小さな秋の
アートと Takanori
音楽会 キヲク座
 まずは、こころを あたたく

3 Nov. 2018
 Sat 11:00-14:00
 Matsudo station
 WEST-EXIT

11月3日
 土曜日
 11:00-14:00
 松戸駅
 西ロデッキ

Ki wo ku za

MATSUDO Vol. 05 WONDER! 2018
 松戸をもっと、おもしろく。
 matsudowonder.com

松戸市制施行75周年記念
小さな秋の
アートと SUGA
音楽会 キヲク座
 まずは、こころを あたたく

3 Nov. 2018
 Sat 11:00-14:00
 Matsudo station
 WEST-EXIT

11月3日
 土曜日
 11:00-14:00
 松戸駅
 西ロデッキ

Ki wo ku za
 日本の童謡や民謡を斬新なアレンジや解釈で演奏するプロジェクトとして、2012年に結成。斬新なリハーモナイズやリズムアレンジを特徴とし、楽曲の深みを知り多くの観客を魅了する。シブシブ音楽として専らジョン・マッケンティアやオノセイゲンを制作陣に加え、2015年に1stアルバム『色あはせ』を発表。2017年に2ndアルバム『遊山』を発表。

Takanori
 SUGA
 自らの存在を路上に記述するグラフィティの表現を参照しながら、人間の根源的な行為や欲求をテーマに、絵画的技法を用いて表現している。2016年マネックス証券主催「ART IN THE OFFICE Program」にてグランプリを受賞。

PARADISE AIR
 “第一”コンセプトとして、市民の芸術文化のトラフィックポイントとなるべく2013年に結成。これまで約200名のアーティストが参加し、松戸の様々な会場を舞台に展示やライブを行う。

matsudowonder.com
 主催：MATSUDO WONDER 2018 松戸市 企画：PARADISE AIR(北PAIR)
 2018 主催：松戸市工務局 商業委員会(小さな秋のアートと音楽会実行委員会) 問合せ：松戸市工務局 TEL:047-364-3111

【“ウィーン・フェスタ MATSUDO” 開催概要 詳細】

世界最高峰オーケストラ“ウィーンフィルハーモニー管弦楽団”の管打楽器奏者等約10名によるブラスムジーク(Blasmusik)(※)。当日は底抜けに楽しいオーストリア民族音楽に触れながら、食事やお酒をお楽しみください。

(※)ブラスムジーク：ドイツ語で「管楽器の音楽」の意味。オーストリア、チェコ、ドイツなどで演奏される、ポルカやワルツなどの民族音楽。管楽器の他に打楽器やアコーディオンなどが入ることが多い。

■開催時間

1回目公演：16：30開場／17：00演奏開始／18：00演奏終了

2回目公演：19：00開場／19：30演奏開始／20：30演奏終了

■チケットのご予約

チケット発売日：11月2日(金) ※お一人様4枚までとなります。

お電話：森のホール21 チケットセンター／047-384-3331

(午前10時から午後7時、月曜休、祝日の場合は翌日休)

■演奏

ヴァイスバッチャー・プラス・ウィーン

(ウィーンフィルハーモニー管弦楽団管打楽器奏者によるブラスムジークアンサンブル)

■出演

- ・シュテファン・ハイメル(ウィーンフィルハーモニー管弦楽団 首席トランペット奏者)
- ・ユルゲン・ペッヒャッカー(ウィーンフィルハーモニー管弦楽団 首席トランペット奏者)
- ・ロナルド・ヤネシッツ(ウィーンフィルハーモニー管弦楽団 首席ホルン奏者)
- ・マニュエル・フーバー(ウィーンフィルハーモニー管弦楽団 首席ホルン奏者)
- ・ラース・ミヒャエル・ストランスキー(ウィーンフィルハーモニー管弦楽団 ホルン奏者)
- ・パウル・ハルヴァクス(ウィーンフィルハーモニー管弦楽団 首席チューバ奏者)
- ・ベンジャミン・シュミーディング(ウィーンフィルハーモニー管弦楽団 打楽器奏者)
- ・シュテファン・ノイバウアー(ウィーン国立歌劇場管弦楽団 クラリネット奏者)
- ・アレクサンダー・ラートシュテッター(ホーファー交響楽団 クラリネット奏者)

<共演>小原裕樹(トランペット奏者)

